

韓国における製材品・合板・木質ボード類の需給動向 (製材品)

1. 製材品

(1) 生産量

2023年における製材品の生産量は人件費の上昇による採算性の悪化及び金利引上げに始まった建設景気の沈滞、そして輸出不振の影響による需要減少で前年対比に14.9%減少した1,274千 m^3 を記録した。そのうち針葉樹の製材品は1,227千 m^3 、広葉樹の製材品は47千 m^3 を示した。

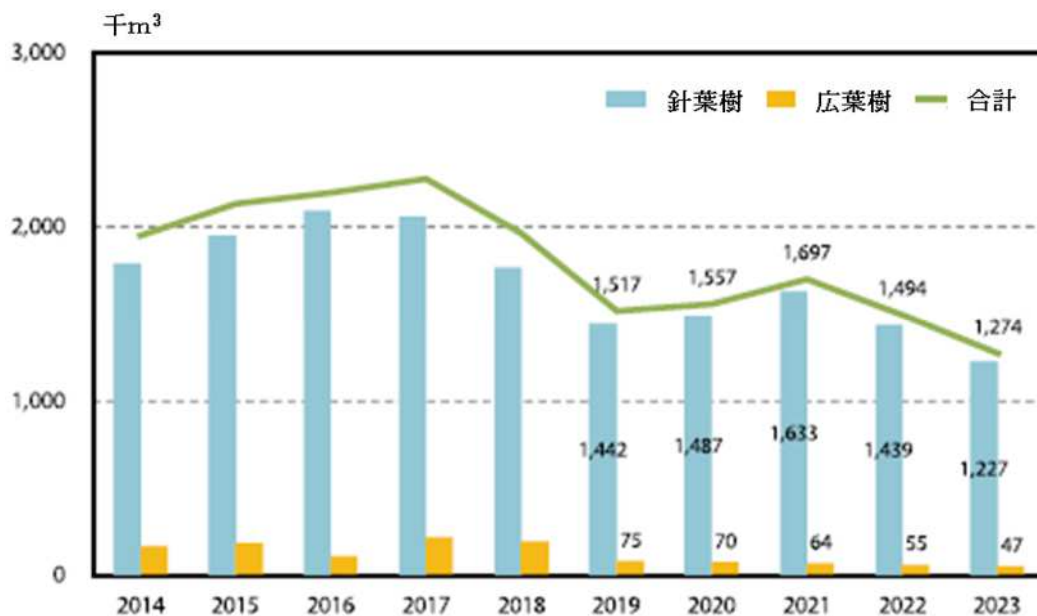


図-1. 製材品の生産量

(2) 輸入量

2023年の製材品の輸入量は国内における輸出景気の沈滞に伴う包装用材及び建設景気の沈滞による建設用材の需要減少で前年対比に2.4%減少した1,774千 m^3 を示した。そのうち針葉樹の輸入量は前年対比に1.0%減少した1,619千 m^3 、広葉樹の輸入量も同対比に15.3%減少した155千 m^3 を示した。最近10年間に於ける製材品の輸入量は2017年に2,518千 m^3 を記録した後、建設景気の沈滞で再び減少傾向へ転じている。

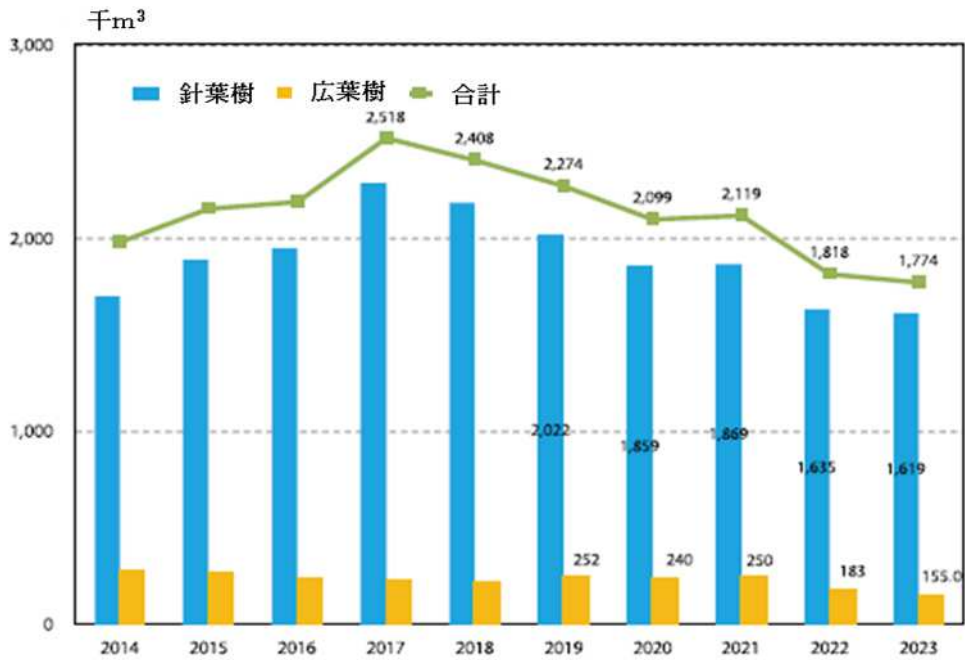


図-2. 製材品の輸入量

製材品の主な輸入国はチリ、ロシア、ニュージーランドである。2023年にチリからの製材品の輸入量は前年対比に2.9%減少した510千m³、ロシアからの輸入量も同対比に4.4%減少した350千m³を示したことに對してニュージーランドからの輸入量は同対比に24.2%増加した190千m³記録した。

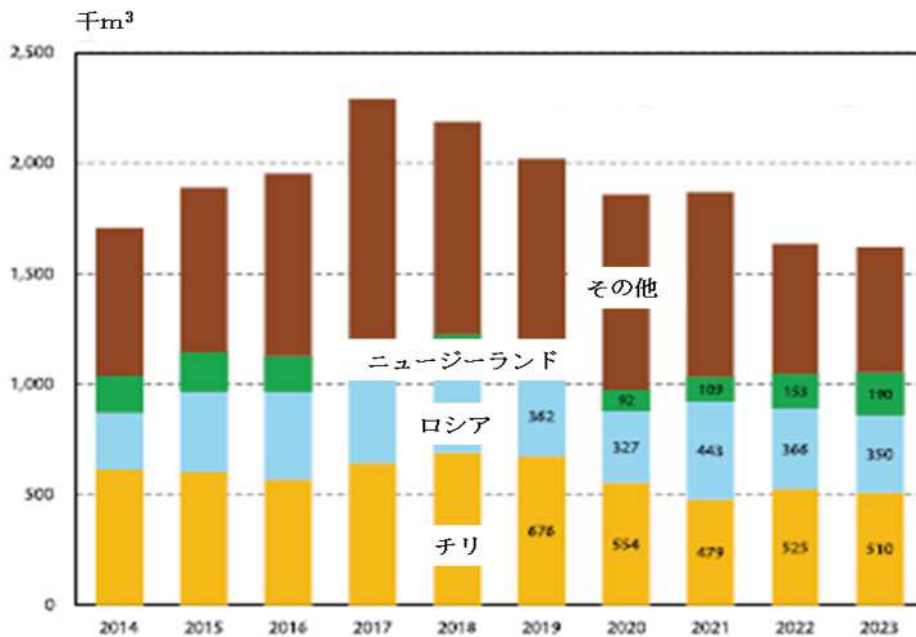


図-3. 国別の製材品の輸入量

(3) 消費量

2023年の製材品の消費量は3,042千 m^3 と前年対比に8.0%減少を示した。高金利や原材料の価格上昇及び不動産PF(Project Financing)の不安定などに伴う建設景気の沈滞、国内輸出の不振、為替(KRW/\$)の上昇などの影響で製材品の消費量が減少したと推定される。

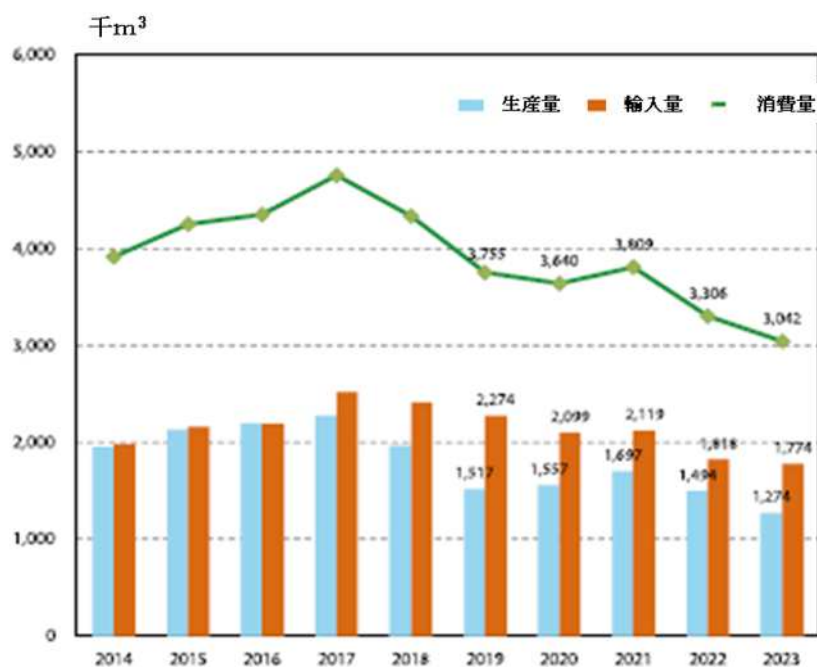


図-3. 製材品の消費量

(4) 需給展望

2024年における製材品の消費量は建設受注、建設許可、建設着工に関する指標の悪化に伴って全体的な建設景気の沈滞が予想されて前年対比に1.5%減少する2,996千 m^3 を記録すると展望されている。

2024年の製材品の生産量は人件費及び電気費用の上昇などで生産の採算性の悪化及び製材品需要の減少で前年対比に1.6%減少する1,253千 m^3 を示していると展望される。

2024年の製材品の輸入量はチリ及びロシアなどの主な輸入国における供給量の拡大及びコンテナ海上運賃の安定化は肯定的な要因であるにもかかわらず国内における建設景気の沈滞による製材品の消費減少の影響で前年対比に1.5%減少する1,748千 m^3 を記録すると展望されている。

表-1. 製材品の需給展望

(単位：千m³)

区分	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028
消費量	3,640	3,809	3,306	3,042	2,996	2,949	2,902	2,854	2,806
生産量	1,557	1,697	1,494	1,274	1,253	1,232	1,211	1,190	1,169
輸入量	2,099	2,119	1,818	1,774	1,748	1,722	1,696	1,669	1,642
輸出量	16	7	6	6	5	5	5	5	5

資料： 国立山林科学院. 2024森林・林業展望